

森林防疫

FOREST PESTS

— 森の生物と被害 —



目次

論文

- 強風によるスギ幹折れ被害における非赤枯性溝腐病による辺材腐朽の状況
〔市原 優・服部 力・松永孝治・高橋由紀子〕 3

学会報告

- 樹病研究最近の動向 —第132回日本森林学会大会より—
〔白川 誠〕 10
- 森林昆虫研究最近の動向 —第132回日本森林学会大会より—
〔北島 博〕 13
- 森林鳥獣研究最近の動向 —第132回日本森林学会大会より—
〔柳澤賢一〕 17

- 協会だより：令和3年度森林防疫賞選考結果 21
- 協会だより：令和3年度森林病虫獣害等防除活動優良事例コンクール選考結果 . . . 23
- 都道府県だより：大阪府・青森県 24
- 協会だより：
どなたでも投稿できます！ 30



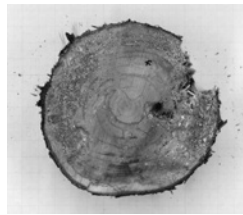
A



B



C



D

〔表紙写真〕 強風によるスギの幹折れに認められた非赤枯性溝腐病の辺材腐朽

写真A：スギ非赤枯性溝腐病による辺材腐朽部での幹折れ，チャアナタケモドキ子実体（点線内），非腐朽部の折損部できたささくれ（矢印）

写真B：辺材腐朽の腐朽断面積割合が90%を超えた部位での幹折れ

写真C：幹折れ部付近（Aの個体）の木口面に見られた辺材腐朽（スケールバー：2 cm）

写真D：幹折れ部付近（Bの個体）の木口面に見られた辺材腐朽（スケールバー：2 cm）

強風による幹折れの被害は，心材腐朽菌による根株心材腐朽病罹病木に多発し，カラマツやトドマツ，街路樹において報告が多い。一方，木材腐朽菌には幹の辺材部を腐朽する辺材腐朽菌もあり，その代表としてスギの幹辺材腐朽病である非赤枯性溝腐病の病原菌チャアナタケモドキ (*Fomitiporia torreyae*) が知られている。京都市でスギの風倒木が多数発生した際に，非赤枯性溝腐病の辺材腐朽部で幹折れになったスギが認められた。腐朽断面積割合が約50%の幹折れ部において，辺材腐朽のない部位にはささくれ（写真A：矢印）が目立って生じていたが，腐朽部にはほとんどなかった（写真A，C）。別個体の幹折れでは，緑葉を保っていたにもかかわらず幹折れ部の腐朽断面積割合が90%を超えており，ささくれが全くない状態だった（写真B，D）。このような辺材腐朽部は非常にもろくなっていたと考えられる。非赤枯性溝腐病罹病木は初期には陥没が目立たないことが多く，また幹の高い部分に発生した場合には発見しにくいことがある。スギ非赤枯性溝腐病が発生している際には，幹折れの可能性がある危険木の存在に留意すべきである。

（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 関西支所 市原 優）